

迷你

日语惯用句 词典

[日] 仓持保男 阪田雪子 编
李 燕 庄凤英 译

迷你

日语惯用句词典

自三省堂原版引进

收录3500条常用惯用句

释义简明 例句实用

外语教学与研究出版社

迷你日语惯用句词典

[日] 仓持保男 阪田雪子 编
李 燕 庄凤英 译



外语教学与研究出版社

(京)新登字 155 号

京权图字: 01-2000-0325

图书在版编目(CIP)数据

迷你日语惯用句词典/(日)仓持保男,(日)阪田雪子编;李燕等译.-北京:外语教学与研究出版社,2001.12

ISBN 7-5600-2406-8

I. 迷… II. ①仓… ②阪… ③李… III. 日语-惯用句-词典 IV. H364.3-61

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2001)第 067204 号

本中文版经 Japan Uni Agency, Inc. 代理,取得日本三省堂出版社的正式授权。

原著:《必携惯用句辞典》

原编者:仓持保男 阪田雪子

原出版社:日本三省堂出版社

迷你日语惯用词典

(日)仓持保男 阪男雪子 编

李 燕 庄凤英 译

* * *

责任编辑:黄文明 刘永志

出版发行:外语教学与研究出版社

社 址:北京市西三环北路 19 号(100089)

网 址: <http://www.fltrp.com.cn>

印 刷:北京外国语大学印刷厂

开 本:850×1168 1/64

印 张:6.625

版 次:2003 年 7 月第 1 版 2003 年 7 月第 1 次印刷

书 号:ISBN 7-5600-2406-8/H·1267

定 价:11.90 元

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励 (010)68917826

版权保护办公室举报电话:(010)68917519

前 言

我们在用日语进行日常会话或写文章时,常常会用到惯用句。比如:“大学を出たのに、まだ親の^{すね}臍をかじっている”(都大学毕业了,但还离不开父母)中所使用的“親の臍をかじる”,指“无法在经济上独立,仍需父母照顾”。类似“親の臍をかじる”这样的由两个以上的单词组成,表示与字面意义大相径庭而具有特殊含义的短语就叫做惯用句。当然,并不是所有的短语在任何场合下都可称为惯用句。例如:“骨を折る”这个短语,当它在表示“スキーで転んで、足の骨を折った”(因滑雪摔倒而使腿部骨折)的意思时,为一般的表达方式,不叫惯用句。然而,当它在表示“職を探すのに骨を折った”(为找工作跑断了腿)的意思时,则就成惯用句了。

许多惯用句都是很巧妙地利用单词来展开联想的。因此,在表达同样的内容时,惯用句比其他的表达方式更具有打动对方的效果。掌握并恰当地使用惯用句,可以使语言的表达方式丰富多彩、生动活泼。此外,如果能对各种惯用句了如指掌的话,就既能充分理解别人的谈话内容或文章中所表达的意思,又能减少不必要的误会,还能加深对语言的理解。

本书收集了日常生活中常用的惯用句,并且对其进行了浅显易懂的解释。另外,还举出了适当的例句来说明惯用句的正确用法。希望本书的面世能有助于大家正确理解和使用日语惯用句,从而丰富语言的表达并提高对文章的理解能力。

编 者

凡 例

一、**词条** 本词典收录了日常生活中使用频率高的惯用句约3,500条,使用汉字假名混合字体,按五十音的顺序排列。

二、**意义、解释** 每个词条都有中文解释,紧附在该词条之后。中文解释力求精悍贴切、浅显易懂、雅俗共赏。读者可借助中文解释融会贯通并且精确地掌握相应词条的意义和用法。

三、**例句** 为了能更准确地把握惯用句的意义和用法,在词条的中文解释之后附有例句。另外,由于使用场合的不同,在惯用句有多种意义并存的情况下,只举出一个比较普遍的例句。其他的可依此类推。例句用㊦表示,日文原文与中文翻译之间用斜线“/”相隔。例句的中文翻译在符合原意并最大限度地表现词条惯用句的意义或用法的前提下,还力求流畅、通俗、清晰,使读者豁然贯通、耳目一新。

四、**类似性短句** 与词条惯用句几乎有同样意义的短句,在例句后用㊧表示。以㊧的形式表示的绝大部分的短句,其意义和用法可以以词条为准。一部分短句虽然作为独立词条而被列举,但没有加以解释和举例。

此外,由于助词的不同或句子本身的省略而产生的与词条的形式不一致的短语,均在词条后面用[]表示,而不作为㊧来处理。

例) ^{いのちひら}命拾いをする [也作“命を拾う”]……

^{えび}海老で^{なま}鯛をつる [也略为“海老鯛”]……

五、**自动词形、他动词形** 与词条对应的自动词形式、他动词形式,分别在例句的后面用㊨、㊩表示。

例) 証^{あかし}を立てる……自証^{あかし}が立つ

足^{あし}が出る……他足^{あし}を出す

不过,像“愛想^{あいそ}が尽^つきる”和“愛想^{あいそ}を尽^つかす”这样的,从形式上看是自、他动词的对应关系,但在用法上并不被当作自、他关系来处理。比如像“彼^{かれ}には私^{わたし}もほとほと愛想^{あいそ}が尽^つきた”和“彼^{かれ}には私^{わたし}もほとほと愛想^{あいそ}を尽^つかした”这样的惯用句,是作为类来处理的。

例) 生地^{きし}が出る……类生地^{きし}を出す

六、反义句 与词条相对应的反义句,在例句后面用反表示。

例) 受け^{うけ}がいい……反受け^{うけ}が悪い

七、参照性词条 用◇表示应参照的其他词条。

1. 紧附在词条之后的◇ 是与词条对应的类或者自、他,附在作为独立词条来处理的惯用句后面。不过,在排列顺序比较接近的情况下,不作为词条列出。

例) 泡^{あわ}を吹^ふかせる ◇ 一泡^{ひとあわ}吹^ふかせる

足^{あし}を出す ◇ 足^{あし}が出る

2. 附在整个惯用句词条项目最后的◇ 表示与词条的意义或由来有一定的关系,相互参照可有助于加深对词条的理解。

例) 十指^{じっし}の指^{さし}す所^{ところ}…… ◇ 十目^{じゅうもく}の見る^{みる}所^{ところ}

十日^{とお か}の菊^{きく}…… ◇ 六日^{むい か}の菖蒲^{あやめ}

八、日语用字 原则上使用常用汉字、现代假名。即使出现常用汉字以外的汉字,也是采用传统书写中广泛使用的汉字。为了便于阅读,视情况而定在汉字的上方标注了假名。

あ

ああ言え^い**ばこ**^い**う** 强词夺理。狡辩。顶嘴。 例 まったくこの子にはあきれたね。ああ言え^いばこ^いう^うで、少しも人の言うことを聞こうとしないのだから、真拿这孩子没办法。总是和大人顶嘴，一点儿也不听话。

愛敬^{あいきょう}**を振りま**^ふ**く** 对谁都和颜悦色。逢人讨好。 例 いつもは威張っているあの男が、今度の選挙に立候補するためか、今日はやたらに愛敬を振りまいて^いいる^いる^う、也许是为了当上这次选举的候选人，那个平日里神气活现的家伙，今天见谁都笑眯眯的。

合言葉^{あいことば}**にする** 以…为口号。以…为标语。 例 民主主義を合言葉にしてきた戦後政治も、最近は一つの転換期に差しかかってきたようだ、就连一直以民主主义为口号的战后（日本）政治，最近也好像面临着一个转折期。

愛想^{あいそ}**が尽**^つ**きる** [“あいそ”也作“あいそう”] 不搭理。厌恶。嫌弃。不喜欢。 例 分からずやのあの子には、もう愛想が尽きた、我都烦死那孩子了，一点儿也不懂事。 例 **愛想を尽かす**

開いた口^あ**が塞**^{くち}**がら**^ふ**ない** （吓得）目瞪口呆。张口结舌。 例 あまりのばかさかげんに、開いた口が塞がらなかった、愚蠢得让人目瞪口呆。

相槌^{あいづち}**を打**^う**つ** 随声附和。帮腔。点头称是。 例 相槌を打ちながら、熱心に話に聞き入る、一边随声附和，一边热心地倾听对方的讲话。

合の手を入れる あい て い 喝彩助兴。 例 聴衆が合の手を入れるのに
気をよくして、演説に一段と熱が入る/在听众的喝彩助威下,他
(她)演讲得更起劲了。

愛の鞭 あい むち 爱的鞭挞。出自爱护的惩罚。 例 あの学生を停学処
分にしたのは、教育者としての愛の鞭だ/出于教育工作者的良好
愿望,给那个学生以停学处分。

合間を縫う あい ま め 抽空。忙里偷闲。 例 仕事の合間を縫って、二か
月ぶりに床屋に行ってきた/两个月没理发了,上班的时候忙里偷
闲去了趟理发店。

阿吽の呼吸 あ うん こ きゅう 气息相合。配合默契。 例 指揮者と楽団の阿吽
の呼吸が合った見事な演奏は聴衆を魅了した/指挥和乐团配合
默契的精彩演奏使听众入了迷。

青息吐息 あお いき と いき 长吁短叹。无计可施。一筹莫展。 例 年末なのに
資金繰りがつかず、青息吐息だ/大年底的,可资金周转不开了,
真是一筹莫展。

青くなる あお (吓得)脸色发青。面如土色。 例 チンピラに絡ま
れたが、一喝したら青くなって逃げて行ってしまった/被一群小
流氓纠缠上了。但对着他们大喝一声之后,全都吓得面无血色地
逃掉了。

青写真を描く あお じやしん えが 绘制蓝图。制定未来计划。 例 頭の中にはす
でに定年後の青写真が描かれている/脑海中已经勾勒出退休后
的生活计划。

青筋を立てる あお すじ た (气得)青筋暴露。青筋迸起。 例 額に青筋を
立てて怒る/气得额头青筋直冒。

青田買い あお た が 买青苗。提前录用即将毕业的学生。 例 青田買い
をあまり派手にやられると、四年生が落ち着かなくなって困る/

一旦大张旗鼓地提前录用，四年级学生就会情绪不稳，这样就不好办了。

青菜に塩 あお な しお 垂头丧气。无精打采。 例 彼は入社試験に落ちて、青菜に塩の状態だ/他没有通过公司的录用考试，一副无精打采的样子。

煽りを食う あお ① 受(强风)冲击。被(疾风)吹倒。 例 爆風の煽りを食って10メートルも吹き飛ばされた/被暴风刮出去10米远。 ② 经济上受到影响。遭受损失。 例 円高の煽りを食って経営が苦しい/受日元升值的影响，(公司)经营艰难。

垢が抜ける あか [也作“垢抜けする”] 变漂亮了。不土气了。时髦起来。 例 東京で大学生活をするうちに、あの子ども垢が抜けてきたね/那孩子在东京上大学期间，渐渐地也时髦起来了。

足掻きが取れない あし が と 一筹莫展。进退维谷。 例 何とかしたいと思っても、この不景気では足掻きが取れない/即使想做点儿什么事，在这不景气的时节，也是让人一筹莫展。

赤くなる あか 羞得无地自容。面红耳赤。 例 聞いている方が顔が赤くなるようなことを、人前でよく言えるね/让听的人都面红耳赤的话，也亏你说得出口。

赤子の手を捻るよう あか こ て ひね 轻而易举。不费吹灰之力。恃强凌弱。 例 今日の試合は相手が弱過ぎて、赤子の手を捻るようなものだった/今天的比赛对手太弱，赢得不费吹灰之力。 例 赤子の腕

を振るよう ねじ
証を立てる あかし た 证明(自己的清白)。 例 自ら真犯人をつきとめ、身の証を立てた/亲自查明真凶，证实了自己的清白。 例 証

が立つ あかしんこう
赤信号が付く あかしんこう 亮红灯。出现危险信号。 例 空梅雨に終わり、

東京の水不足に赤信号が付くのは必至だ/梅雨季节没下雨,东京肯定会出现缺水现象。

赤の他人 あか た にん 毫无关系的人。陌路人。 例 もう、今日から君とは赤の他人だ/从今天开始,和你一刀两断。

赤恥をかく あか はじ 当众出丑。丢人。出洋相。 例 みんな正装をして来ていたのに、私だけ平服でとんだ赤恥をかいだ/别人都是穿礼服来的,只有我穿着便装,真够丢人的。 ◇ 恥をかく

飽きが来る あき が くる 腻了。厌倦了。 例 こういう派手な柄は、初めのうちがいいが、そのうちに飽きが来ると思う/我认为,这种鲜艳的图案开始可能还觉得不错,可不久就会腻烦的。

秋風が立つ あき かぜ た [“秋”与“飽”为双关语] (男女间)爱情冷淡下去。关系淡薄起来。 例 交際が長過ぎたせいか、あの二人の間には、秋風が立ち始めたようだ/也许是因为交往太久的缘故,那俩人之间的关系似乎开始冷淡起来。

灰汁が強い あいく じょう 个性倔强。 例 今年の新人賞を取った小説は、灰汁が強い文章だが、なかなか迫力のある作品だ/获今年新人奖的小说,虽然个性很强,却相当有气势。

灰汁が抜ける あいく ぬ 文雅。随和圆通。洒脱。 例 あの人には管理職になったら、上と下からもまれたためか、灰汁が抜けてきた/他当上干部后,也许是在处理上下关系中得到了磨炼,变得随和圆通了。

悪女の深情け あくじょ ふかなさ 丑女深情。丑女多情。(也指)令人为难的好意。 例 悪女の深情けとやらで、彼は木村さんに惚れ込まれ、弱っているようだ/所谓丑女多深情,他被木村缠上,看来伤透脑筋了。

アクセントを置く お 以…为重点。以…为强调点。 例 防衛力の増強にアクセントを置いた予算編成/以增强防卫能力为重点

编制预算。

悪銭身に付かず 不义之财无久享。财悖人则悖出。 例 競馬で大穴を当てたが、悪銭身に付かずで、あっという間に使ってしまった/虽然赌马中了个大冷门,但所谓不义之财无久享,转眼间钱就用光了。

悪態をつく 破口大骂。骂街。撒泼。 例 借金を断われ、悪態をついて帰って行った/借钱不成,破口大骂了一通回去了。

悪の温床 坏事的温床。罪恶的渊藪。 例 大都会の歓楽街は悪の温床だ/大都市の花街柳巷是滋生罪恶的温床。

欠伸を噛み殺す 忍住哈欠。耐着性子。感到腻烦却又不得不继续做某事。 例 校長の話を生徒は欠伸を噛み殺しながら聞いている/学生们耐着性子在听校长的讲话。

あぐらをかく 稳坐。大模大样。坐享其成。 例 彼が社長の座にあぐらをかいていられるのも長くはあるまい/他坐享社长宝座的日子也许不会太长吧。

揚げ足を取る 抓小辫子。揭短儿。找碴儿。 例 あいつは人の言葉じりをとらえて、揚げ足ばかり取っている/那家伙抓住别人的话柄,一个劲儿地挖苦讽刺。

揚句の果て 〔“揚句”也作“拳句”〕 结果。结局。最后。末了。 例 些細なことから口論となり、揚句の果ては殴り合いの喧嘩になった/因琐碎小事发生争吵,最后竟扭打起来。

上げ潮に乗る 乘势。发展劲头足。顺利。 例 事業は上げ潮に乗って急速に発展した/事业一帆风顺地迅速发展起来。

上げたり下げたり 忽褒忽贬。一涨一落。 例 あの人の美術評は上げたり下げたりで、結局何が言いたいのかよく分からない/那个人评论美术作品忽褒忽贬的,不知他究竟想说什么。

明けても暮れても 日复一日。朝朝暮暮。日日夜夜。 例 彼女は明けても暮れても死んだ恋人のことばかりくよくよ考えているようだ/她日日夜夜思念死去的恋人,总是一副闷闷不乐的样子。

顎が落ちそう 非常好吃。好吃极了。 例 おいしくて顎が落ちそうだ/真是好吃极了。 类 ほっぺたが落ちそう

顎が外れる 大笑。笑掉下巴。 例 彼の滑稽なしぐさに、みんな顎が外れるほど笑いころげた/他那滑稽的动作逗得大家笑作一团。 类 顎を外す

顎が干上がる 无法糊口。难以生存。喝西北风。 例 僕らの商売は、こう雨ばかり続いたのでは顎が干上がってしまう/干我们这行的,如果老这么一直下雨的话,可要喝西北风了。 类 口が干上がる・鼻の下が干上がる

顎で使う [也作“顎の先で使う”] 颐指气使。以倨傲的神气支使人。 例 最近の子供は親を顎で使うような態度をとっている/现在的孩子,对待父母就像对待下人一样。

顎をしゃくる 用下巴示意。颐指气使。 例 いくら部長でも、顎をしゃくって部下に用を言い付けるのはひどい/就算是部长,对部下颐指气使也是很过分的。

顎を出す 精疲力尽。疲惫不堪。束手无策。 例 頂上はおろか三合目で早くも顎を出した/别说山顶了,才爬到(富士山的)第三段就早已精疲力尽了。

顎を撫でる 得意洋洋。(也指)失望的样子。 例 老人は孫を相手に、顎を撫でながら自慢話を始めた/老人洋洋得意地在孙子面前自吹自擂起来。

明後日の方 完全错误的方向。认错方向。 例 そんな明後日

の方を探したって、見つかりっこないよ/再这么方向错误地寻找下去,是根本不可能找到的呀。

朝飯前 あさめしまえ 轻而易举。非常容易。易如反掌。 例 そんなことは朝飯前だ/那样的工作很容易。

足が重い あしおも 有所顾虑,举足不前。 例 見舞いに行かなければと思うのだが、癌がんで助からないことが分かっているので、足が重くなる/明知该去医院探望,但得知他(她)已是癌症晚期,便有点不知所措。

足が地に付かない あしちにつか 心神不定。沉不住气。慌里慌张。 例 あの男は気が多過ぎて、何をやっても足が地に付かない/他过于浮躁,干什么都不踏实。

足が付く あしにつく ① 有下落。找到(犯人的)踪迹。 例 地道じみちな聞込み捜査で、犯人の足が付いた/经过周密的侦查搜索,发现了犯人的踪迹。 ② (从某种线索中)发现了犯人。 例 現場に落ちていたハンカチから足が付いた/从丢在犯罪现场的手帕入手查出了犯人。

足が出る あしで 出现赤字。出现亏空。 例 予定より一万円ぐらい足が出たが、予備費でまかなった/比预算多支出了1万日元左右,不过用备用金补上了。 他 足を出す

足が遠のく あしとお (和以前相比)很少拜访。疏远。 例 母親が死んでからは、実家へもすっかり足が遠のいてしまった/母亲去世后,(我)就不大回娘家了。

足が早い あしはや ① (食品)容易腐烂。(食品)放不住。 例 生魚なまざかなは足が早いから気をつけなさい/鲜鱼容易变质,要当心。 ② (商品)畅销。 例 今度の新製品は思ったより足が早く、生産が追いつかない/这次的新产品出人意料地畅销,已供不应求。

足が棒になる あし ぼう 两腿累得发直。两腿累得发酸。 〔例〕一日中立

ちっ放しで、足が棒になった/站了整整一天,两腿累得都发直了。

足が向く あし む 信步而行。不知不觉地到(某处)。 〔例〕まっすぐ家に

帰ろうと思って会社を出たが、自然と行きつけの飲み屋の方に

足が向いてしまった/下了班本想就直接回家的,可不知不觉地朝着经常光顾的那家酒馆走去了。

足蹴にする あし げ 无情地对待。虐待。粗暴。 〔例〕立身出世のため

に恩人を足蹴にするとはあきれた奴だ/为了出人头地,居然恩将仇报,真是个可恶的家伙。

明日は明日の風が吹く あした あした かせ ふう 船到桥头自然直。车到山前必有路。

做一天和尚撞一天钟。 〔例〕いまさら済んでしまったことを後

悔してもしかたがない。「明日は明日の風が吹く」だ/过去了的事情后悔也没有用,正所谓“船到桥头自然直”嘛。

足手まといになる あし て 碍手碍脚。累赘。 〔例〕君のように体の弱

い人は、かえって探検隊の足手まといになる/像你这样体弱的人,反而会成为探险队的累赘。

足留めを食う あし ど 受禁闭。不许外出。被困。 〔例〕危険だからホ

テルから出てはいけないと、足留めを食っている/说是有危险,被困在饭店里不许外出。

味なことをやる あじ 〔也作“味をやる”〕(意外地)干得漂亮。(意

外地)干得巧妙。 〔例〕君も見かけによらず、なかなか味なことをやるね/你可是真人不露相,干得蛮漂亮嘛。

足並みが揃う あし な そろ 步调一致。行动统一。 〔例〕各組合の足並みが

揃わず、予定されていた統一ストはお流れになる/各个工会协调不起来,原定的总罢工计划流产。 〔他〕足並みを揃える

足に任せる あし まか 漫无目的地走。信步而行。随意走走。 〔例〕若い

ころは足に任せて、あちこち気ままな旅をしたものだった/年轻的时候,曾随心所欲地去各处旅行过。

足場を失う あしば うしな 丧失基础。失去立足之地。失去依据。 例 国内大会で敗れ、世界大会進出への足場を失ってしまった/由于在国内的比赛输了,所以失去了参加世界比赛的资格。

足場を固める あしば かな 站住脚。巩固阵地。打好基础。 例 県議会で活躍し、国会議員への足場を固めた/在县议会中大显身手,为当选国会议员打下了基础。

足踏みをする あしふ 因受阻而停滞不前。踏步走。 例 思いのほか輸出が伸びず、売上高が足踏みをしている/没想到出口没有增加,销售额也裹足不前。

味もそっけもない あじ 枯燥无味。无趣。乏味。 例 型にはまった、味もそっけもない年賀状/拘于形式且毫无趣味的贺年片。

足下から鳥が立つ あしもと とり 突如其来。突然开始做某事。 例 足下から鳥が立つように帰って行った/突然想起什么似地回去了。

足下につけ込む あしもと こ 乘人之危。抓住弱点。 例 人の足下につけ込んで金を巻き上げる/乘人之危,卷走钱财。

足下に火が付く あしもと ひ 大祸临头。危在旦夕。燃眉之急。 例 仲間が逮捕され、ついに彼も足下に火が付いた/同伙被逮捕,终于他也大祸临头了。

足下にも寄りつけない あしもと よ 望尘莫及。 例 あの人の頭のよさは、私なんか足下にも寄りつけない/他那聪明劲儿,我等是望尘莫及。 例 足下にも及ばない

足下の明るいうち あしもと あか 趁早。事不宜迟。 例 足下の明るいうちに使い込みの穴埋めをしておかないと、とんでもないことになる/趁现在赶紧把挪用的公款补上,要不然就要坏事了。

足下を見る ^{あしもと} ^み 抓住别人的弱点。利用别人的弱点。 例 足下を見られて、安く買ったたかれた/被人抓住弱点,不得不压价出售。

足を洗う ^{あし} ^{あら} 金盆洗手。改邪归正。 例 やくざの世界から足を洗って、まじめに生きる/脱离黑社会,安分守己地生活。

足を入れる ^{あし} ^い 介入。涉足。进入。 例 一度やくざの世界に足を入れると、容易には抜けられなくなるそうだ/据说一旦跨入黑社会,就很难脱身了。

足を奪われる ^{あし} ^{うば} (因罢工、事故等)交通中断。车辆不通。 例 交通ストで通勤・通学の足を奪われた/因交通部门罢工,上班、上学的人受阻。

味を占める ^{あじ} ^し 尝到甜头。守株待兔。 例 初めて株^{かぶ}でもうけたのに味を占めてまた株を買う/因第一次买股票赚了钱而尝到了甜头,就又去买股票。

足を掬う ^{あし} ^{すく} 暗中捣鬼。下绊子。使…栽跟斗。 例 対立候補に足を掬われ、落選^うの憂き目を見た/由于反对派的候选人搞小动作,结果惨遭落选。

足を出す ^{あし} ^だ ◇ 足が出る

足を取られる ^{あし} ^と (因障碍物或醉酒)行动困难。脚步不稳。 例 ぬかるみに足を取られて転んでしまった/陷在泥里拔不出脚,摔了一跤。

足を延ばす ^の 进一步到更远的地方去。 例 京都へ行ったついでに、神戸まで足を延ばして、息子の家を訪ねてきた/去京都时顺便又去了在神户的儿子家。

足を運ぶ ^{あし} ^{はこ} 特意前往访问。专访。 例 何度も足を運んで、やっと面会が許された/专程拜访了好几次,终于得以会面。

足を引っ張る ^{あし ひ ば} ① 阻挠。捣乱。 例 同業者に足を引っ張られ、商売が苦しくなる/受到同行的阻挠,买卖不好做了。 ② 扯后腿。 例 四番打者の不調がチームの足を引っ張っている/四号击球手状态不佳,扯了球队的后腿。

足を踏み入れる ^{あし ふみ い} 挺身踏入。敢于进入。明知山有虎,偏向虎山行。 例 僕は気が弱くて、ホステスの居るような店へは一度も足を踏み入れたことがない/我生性懦弱,从没进过有女招待的酒馆。

足を棒にする ^{あし ぼう} 跑细了腿。四处奔走。遍寻。 例 足を棒にして探し回る/四处奔波寻找。

足に向けて寝られない ^{あし む ね} [也作“足を向けられない”] 十二万分感激。感激不尽。 例 私が今日あるのは石田さんのおかげなのだから、あの人に足に向けて寝られない/我能有今日,全靠石田先生的帮助,对他我是十二万分的感激。

味をやる ^{あじ} ① 味なことをやる

与って力がある ^{あずか ちから} 起非常大的作用。对…有贡献。 例 今回の誘拐犯逮捕に際しては、一般市民の協力が与って力があつた/在这次追捕拐骗犯的过程中,市民的协助起了很重要的作用。

明日に備える ^{あす そな} (为将来)事先做准备。 例 明日に備えて、十分に体を鍛えておく方がいい/为将来锻炼出一副好体格。

汗水流す ^{あせみずなが} 不辞辛苦。艰苦工作。 例 多くの人が何年も汗水流して北海道の原野を開拓してきた/人们经过年复一年的辛苦劳作,终于开垦出了北海道的荒原。 例 汗水垂らす

汗をかく ^{あせ} (食品因过期而表面)发黏。 例 このソーセージは少し汗をかいてきた/这根香肠有点发黏了。

当たって砕けろ ^{あ くだ} 破釜沉舟。一不做二不休。横下一条心。 例